

口像が正立するように撮影するものとする。

ただし、マイクロ像を正立で撮影することが困難な場合は、反時計回りに 90° 回転して撮影するものとする。

コマ・ピッチ及びコマ・サイズ

マイクロフィルム撮影のコマ・ピッチ及びコマ・サイズは、次の表による。

フィルムの種類	コマ・ピッチ (mm)	コマ・サイズ (mm)
16 mmフィルム	1.0 ± 0.3	(フルサイズ) 15 × 21 (ハーフサイズ) 15 × 10.5

4 現像処理

マイクロフィルムの現像、定着及び水洗い等の処理は、JIS で定める方法で行うことを標準とする。

5 品質管理

マイクロフィルムの撮影は、文書情報管理士 1 級以上の資格を有する技術者が在職する撮影業者が行うものとし、担当職員がこれに関する証明を求めた場合は、図 2 の認定証書の写しを提出しなければならない。

マイクロフィルムの使用材料及び各種試験方法等については、JIS の規定に準拠する。

使用フィルム

濃度

解像力

残留物試験

マイクロフィルム・ジャケット

その他 JIS に規定があるもの

6 仕上りの確認

マイクロフィルムの各種試験は、撮影業者の検査責任者が納入ごとに実施するものとし、作成数量及び 図 - 3 マイクロフィルム試験結果表 に定める項目についての試験結果を記入して、検査責任者が記名・捺印のうえ 1 部を提出するものとする。

マイクロ像は、すべての個所で焦点の合った鮮明なものでなければならず、現像ムラや損傷、異物の付着、その他汚染等があってはならない。

また、その取扱い中は、手袋等を用いて、キズや指紋を付けないよう注意しなければならない。

7 納品

マイクロフィルムは、複製フィルム（Direct Duplicating Film:DDフィルム）のみ、保護袋に収納して納品するものとする。

ただし、担当職員がマスター・フィルム（Master Negative Film:Mフィルム）の提出を指示する場合は、合わせて納品するものとする。

複製フィルムは、図 - 1 のとおりジャケットに格納すること。

ジャケット見出し欄の業務名及び測量台帳コード は、担当職員の指示により記入するものとし、撮影年月日については、実際に撮影した日付を記入すること。

ジャケットが複数になる場合は、撮影順にシート を記入すること。

マイクロフィルム及び撮影原稿は、担当職員に直接納品すること。

図 - 1 マイクロフィルム（ジャケット）の作成方法

1. ジャケットの様式（例）

【境界確認書類】市道認定予定線 (_____ 地区)用地確定測量 平成 年 月 日 撮影 札幌市建設局土木部管理測量課	ホルダー	測量台帳コード	シート
		-	001

	表紙	【漬地】 境界確認 一覧表	境界 確認書	添付図面	境界 確認書	添付図面
境界 確認書	添付図面	境界 確認書	添付図面			
			【残地】 境界確認 一覧表	残 境 界 確認書	残 添付図面	残 境 界 確認書
残 添付図面	残 境 界 確認書	残 添付図面		拒否者 折衝 記録簿	拒否者 折衝 記録簿	

2. ナンバー記入枠の詳細

	← 20 mm	← 30 mm	← 20 mm
5 mm	ホルダー	測量台帳コード	シート
10 mm		-	001

- 字 体 : 明朝体とする。
- 業 務 名 : 担当職員の指示する業務名を記入する。
- ホルダー : 記入しない。
- 測量台帳コード : 担当職員の指示するコード を記入する。
- シ ー ト : ジャケットが複数になる場合は、「001」から順に付番する。

図 - 2 文書情報管理士 認定証書

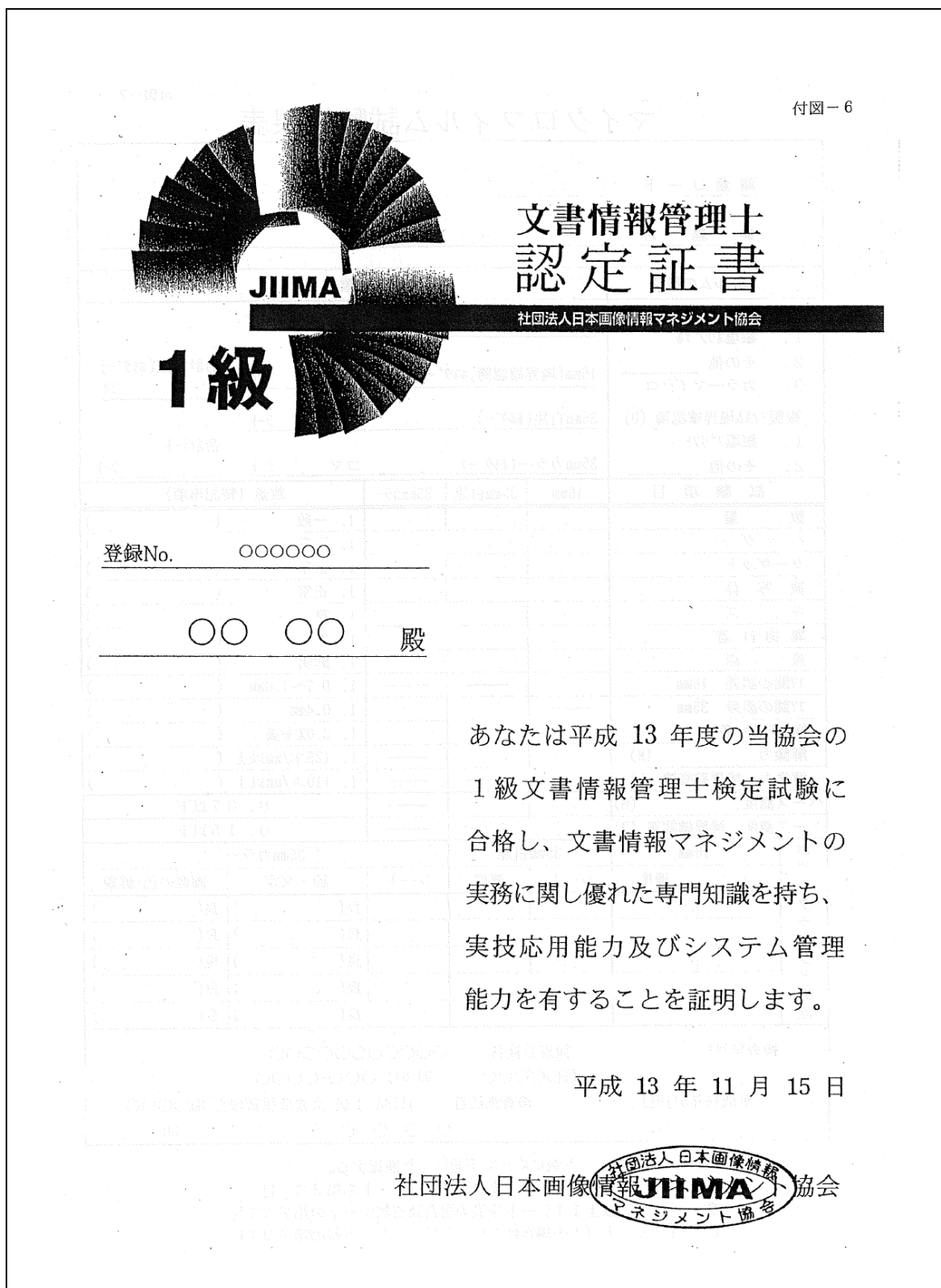


図 - 3 マイクロフィルム試験結果表

マイクロフィルム試験結果表						
測量台帳コード _____						
業 務 名 _____						
フィルムの種別		作 成 数 量				
マスターフィルム (M) 1. 銀塩リソ 2. その他 _____	16mm(境界確認簿, D-1)	コマ			合計コマ数(緑ヶ-) 37	
	16mm(境界確認簿, 緑ヶ-)	コマ	シート			
複製フィルム境界確認簿 (D) 1. 銀塩リソ 2. その他 _____	35mm白黒(緑ヶ-)	コマ	シート	合計シート シート		
	35mmカラー(緑ヶ-)	コマ	シート			
試 験 項 目	16mm	35mm白黒	35mmカラー	数値 (特記事項)		
数 量				1. 一致	()	
ヘ ッ ダ ー				1. 正常	()	
タ ー ゲ ッ ト				1. 正常	()	
被 写 体				1. 正常	()	
キ ズ				1. 無	()	
異 物 付 着				1. 無	()	
焦 点				1. 鮮明	()	
J7間の誤差 16mm		—	—	1. 1.0mm±0.3	()	
J7間の誤差 35mm		—	—	1. 0.4mm	()	
縮 率 誤 差				1. 2.0%未満	()	
解像力 (M)		—	—	1. 120本/mm以上	()	
解像力 境界確認簿 (D)		—	—	1. 100本/mm以上	()	
ベース濃度 (M)			—	0.07以下		
ベース濃度 境界確認簿 (D)			—	0.15以下		
バ ッ ク グ ラ ウ ン ド 濃 度	16mm		35mm白黒		35mmカラー	
	シート	濃度	シート	濃度	シート	線・文字 画像の色・鮮鋭
						良() 良()
						良() 良()
						良() 良()
検査年月日		検査会社名		○○○○○○○○○○○○		
平成○○年○月○日		(株)○○○○		Tel 011-○○○-○○○○		
		検査責任者		JIIMA 1級 文書情報管理士 No.○○○○		
				○ ○ ○ ○ 印		

※ ジャケットは各シート数に応じて下記により検査する。

- ① 1シート以上6シート未満の場合は各シートの第2コマ目
- ② 6シート以上11シート未満の場合は奇数シートの第2コマ目
- ③ 11シート以上の場合は1シート目と5シート毎の第2コマ目

【試験項目覧の記入方法】

- 撮影した規格に対応する試験項目覧に数字の1又はチェックマークを記入し、特記事項があればカッコ内に記入すること。
- 解像力(M)、解像力境界確認書(D)については、前記記号のほか具体的な試験結果の数字をカッコ書きすること。
- ベース濃度(M)、ベース濃度境界確認書(D)は、試験結果の数字を記入すること。